

横須賀市環境基本計画 2030 の一部改定について

改定の趣旨

本市は、2022年（令和4年）3月に「横須賀市環境基本計画 2030」を策定し、環境施策を推進してきました。本計画内で扱う環境分野は、地球温暖化対策・みどり政策・一般廃棄物処理など多岐にわたるため、関連する個別計画を分野別計画として位置付け、各分野別計画における具体的な取り組みを一体となって推進することにより、総合的に環境行政を推進してきました。

2026年（令和8年）3月、各分野別計画の改定内容との整合を図るため、第4章「基本目標の実現に向けた施策の展開」のうち、分野別計画と関連する基本目標の「2029年度（令和11年度）指標」及び「施策の方向と実現に向けた取り組み」を一部改定しました。

主な改定内容

基本目標1 人と自然が共生し、ゆたかな環境に親しめるまちをめざします

- （1）「横須賀すみどりの基本計画～生きもののめぐみを未来へつなぐ～」（2026年3月策定）の目標値に合わせて、緑被率及び都市公園面積の2029年度（令和11年度）指標を直近の実績に基づき更新しました。
- （2）「横須賀すみどりの基本計画～生きもののめぐみを未来へつなぐ～」を生物多様性基本法第13条に基づく生物多様性地域戦略として位置付けたことから、生物多様性保全に関する取り組みをより一層推進するため、2029年度（令和11年度）指標として「自然共生サイトの面積」について新たに設定しました。また、「施策の柱3」において、施策の方向と実現に向けた取り組みのひとつとして「生物多様性保全にかかる基本的戦略の策定」を設定していましたが、これを「生物多様性保全にかかる基本的戦略の推進」に関する内容に更新しました。

■基本目標達成の目安となる指標

| 2029年度（令和11年度）指標 | 改定前 | 改定後 |
|--------------------------|---------|---------|
| ・緑被率（みどりの総量）の維持・向上をめざします | 54.5% | 53.1% |
| ・近郊緑地保全区域を維持します | 1,012ha | 変更なし |
| ・自然共生サイトの面積を増やします | （新設） | 193.9ha |
| ・都市公園面積を維持し、適切な配置をめざします | 571ha | 696.1ha |

基本目標 2

気候変動に適応し、脱炭素社会へ移行するまちをめざします

「ゼロカーボンシティよこすか 2050 アクションプラン」(2026年3月改定)の市域施策編における温室効果ガス排出量の削減目標に合わせて、2029年度(令和11年度)指標を2013年度比「43%削減」から「46%削減」に更新しました。

■基本目標達成の目安となる指標

| 2029年度(令和11年度)指標 | 改定前 | 改定後 |
|------------------------------|------------------|------------------|
| ・公共施設における電気の再生可能エネルギー化を推進します | 50% | 変更なし |
| ・エネルギー消費量の削減をめざします | 2013年度比 18%削減 | 変更なし |
| ・温室効果ガス排出量の削減をめざします | 2013年度比 43%削減 | 2013年度比 46%削減 |

基本目標 3

身近なところから生活を見直し、循環型社会を構築するまちをめざします

「横須賀市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」(2026年3月改定)に合わせて、直近の実績である2023年度(令和5年度)を指標の基準年度として推計するとともに、近年のごみ排出傾向や施策の効果見込み等を反映し、ごみの排出量及び資源化率の2029年度(令和11年度)指標を更新しました。

■基本目標達成の目安となる指標

| 2029年度(令和11年度)指標 | 改定前 | 改定後 |
|------------------|-------------------------------|------------------------------|
| ・ごみの排出量を削減します | 111,222 t (2020年度比11.4%削減) | 104,061 t (2023年度比7.2%削減) |
| ・ごみの資源化率を向上します | 33.6% (2020年度比0.1%向上) | 33.0% (2023年度比0.6%向上) |

横須賀市環境部環境政策課
〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp>

※2026年4月から「環境政策担当部 環境政策・ゼロカーボン推進課」へ変更となります。